

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
建築設計科											
建築計画 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	安田智紀			実務 経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
建築を計画し、デザインするための基礎知識に加え、バリアフリーなど必要とされている分野についても学びます。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。①住宅等の計画手法に必要な基礎知識を習得する。②授業で得た知識をきっかけに身近な建築物を見て興味関心を持つ。③並行して学習する「設計製図1」の住宅設計課題である「木造平家建住宅」を、自力で設計する。											
授業方法											
住宅・集合住宅、バリアフリー住宅等の計画手法について理解する。原則として教科書に沿って講義を進め、ポイントを理解するためVTRなどを有効的に使用する。また、授業のはじめに必ず前回の授業内容の確認テストを行い、復習できるようにする。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する											
履修上の注意											
集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
初学者の建築講座建築計画第三版 市ヶ谷出版社、第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション：ガイダンス、建築計画の概要について理解する。										
第2回	日本の伝統的住宅形式、貴族・武家の住宅建築様式、住宅の配置計画について理解する。										
第3回	平面の類型、終戦直後の頃の狭小住宅について理解する。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
建築設計科	
建築計画 1	
第4回	各室の計画として、個人の生活空間について理解する。
第5回	各室の計画として、家族の共用的な生活空間について理解する。
第6回	近代建築の三大巨匠について、DVD視聴を交えて理解する。
第7回	各室の計画として、水まわりや廊下・階段などの移動空間について理解する。
第8回	集合住宅の計画と高さなどによる分類について理解する。
第9回	中高層集合住宅の階段・廊下などによる分類などについて理解する。
第10回	人間の基本動作に基づく寸法について理解する。
第11回	段差解消、床材、建具など住まいの整備のための基本技術について理解する。
第12回	色彩・照明、インテリアなど住まいの整備のための基本技術について理解する。
第13回	屋内外の移動など生活行為別に見る安全・安心・快適な住まいについて理解する。
第14回	排泄・整容・入浴など生活行為別に見る安全・安心・快適な住まいについて理解する。
第15回	全体のまとめ、期末試験対策について理解する。